



東京都立八王子特別支援学校 特別支援教育だより



令和4年度
第2号

<http://www.hachioji-sh.metro.tokyo.jp/>

令和5年2月7日発行 校長 野口 幹人

●今年度の副籍交流報告

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防をしながら、3年ぶりの直接交流を実施することができました。小学部1～3年生は初めての直接交流のため、理解推進授業を兼ねて自己紹介をするところからスタートしました。優しく受け入れてもらえたことに、保護者と児童共に安心していました。定期的な交流を続けることで、お互いの理解を深めていきたいと思えます。

また、間接交流では、引き続き学校だより等の交換を行いました。希望者は、「自己紹介シート」や「個別の通信」を保護者が作成し、交流クラスに掲示してもらいました。まずは知ってもらうことが大きな一歩です。直接交流にも興味があるけれど、実施するか悩んでいる保護者の皆様、放課後に地域指定校へおたよりを届けに足を運んでみるのはいかがでしょうか。

さて、そろそろ次年度の副籍交流についてお悩みの保護者の方もいるのではないかと思います。裏面にて、今年度の取組み内容や、保護者の感想を御紹介いたしますので、ぜひ参考にしてみてください。

●今年度の学校間交流

今年度は、小学部4～6年生が八王子市立第七小学校と、中学部1年生が八王子市立第六中学校の生徒会と、学校間交流を実施いたしました。小学部は、ビデオメッセージを送り合いました。中学部は、一緒にポッチャを行って楽しむことができました。こちらも、少しずつコロナ禍前の様子に戻りつつあり、嬉しく思います。



教科 内容	保護者の感想（一部抜粋）
学級活動 (ジャンケン列車・エビカニクス)	はじめのうちは本人もかなり緊張していて母にしがみつくこともありましたが、曲がかかると反応し、みんなと踊ることができました。クラスの子どもたちが、どうやったら一緒に楽しめるか考えて言葉掛けしてくれました。帰りには少し慣れてきたようで笑顔も見られ、お友達数人と手を繋いで通学路を帰りました。
体育	3年ぶりでしたが、女の子たちが声をかけてくれたり、手を引いて一緒に動いてくれたので、臆することなく一緒にゲームを楽しむことができました。覚えてくれている男子も「元気？久しぶり」と声をかけてくれ、変わらない優しさが本当に嬉しかったです。
音楽 (歌・鍵盤ハーモニカ)	自分が上手にできないことに落ち込んだり、自分の鍵盤ハーモニカを持ってきていないことに悲しくなり泣いたり、貸してもらって楽しそうに吹いたりしていました。その度に近くの友達が優しく声を掛けて寄り添ってくれました。クラスの大半の子が、覚えていてくれて、副籍交流をしてよかったなと思いました。
体育 (体ほぐし運動)	先生の優しい言葉掛けや、クラスのみなさんがとてもあたたかく迎えてくださり、本人の表情もずっと穏やかで過ごせました。最初は様子を伺っているのと照れているようで窓の外を見ていましたが、マットが出てきたらソワソワ。クラスの友達が「いいよ」と自然に参加させてくれてありがたかったです。帰宅後も笑顔で過ごしていました。
音楽会	特別支援学校とは違った学校行事の雰囲気味わえ、本人も席に座って見学することができました。



★今年度も交流活動について、御理解・御協力ありがとうございました。
無理なくできることから提案していきます。
お悩みの際には、お気軽に御相談ください。

(問合せ先)

東京都立八王子特別支援学校

電話 042-621-5500

東京都八王子市台町3-5-1

副校長

特別支援教育コーディネーター

添田 和久

鶴田 京子

内田 璃沙